TYCA 2020 ONLINE
Alumni Voices Summaries
(Only Japanese)

This document was made as of December, 2020.
掲載内容は2020年12月現在のものです。

Indonesia - 1

Name /	Photo	Vol	Summary	Title / Theme
Thoriq Gibran Ibrahim University student (Finance)		2	東南アジアでファンドを立ち上げ、アジアの起業家を育て、社会・経済の反映を助けたいと思っています。社会は予測不可能な事象に対して脆弱性を持っており、将来の政策立案者はヘルスケア、教育、雇用等に長期的な視点から投資すべきと考えています。	***Systematic Risk and Resilience*** 1. Post-Covid-19 World and my role
Hana Delia Sowiyk Civil Servant		2	わが国インドネシアは地域の発展を含め財政資源の投入が必要ですが、税は重要な役割を果たします。私は税担当官としてインドネシアの持続的な発展のために税の教育を含めて啓蒙活動を進めています。	***The Importance Of Being Aware Of Taxes To Achieve The Country's Development Targets*** 3. Contributing to SDGs
Wirawan Muis Wajdi Student （Business Management and International Business)		4	コロナによるロックダウンの中、自分として何が出来るかを考え、映像をつけた音楽を作成し、YouTubeにアップし、若いミュージシャン達が活用できるようなビジネスモデルを考え出しました。僕の作った映像を見た人から「とても元気をもらった。」等のコメントがあり、音楽が社会に影響を与えられることを再認識しました。	***The Pandemic's Very Own Music Producer*** 2. Unique actions/Encouraging moves

Indonesia - 2

Name	Photo	Vol	Summary	Title / Theme
Riandara Pratama Gilang University Student (Production of Film & TV Department)		4	いま、ロンドン芸術大学で映画とテレビの製作の勉強をしています。人を楽しませることが私は好きなのでこの道を選びました。2017年の冬にTYCAで学んだ知識や学びは今でも私は折にふれ立ち返っています。パンデミックが世界を襲っていますが、全世界の6割を占めるアジアの人たちがひとつになれば世界を変えることが出来ると信じています。特に若い人たちが声をあげ、行動すべきだと思います。	***Beyond Boundaries: TYCA Unifying Asia*** 4. Applying TYCA learnings
Kyena Clarissa Adara Student		6	東大や阪大等、日本のトップの大学に進学するのが夢で、その準備で大阪の日本語学校に入りましたが、直前 で する ことができなくなりました。今まで何事も計画的に物事を進めてきた性格でしたので、今回の突然の環境の変化に私の精神状態も限界を超えてしまいました。自分がそうした辛い経験もしたこともあり、今将来の職業として最大の関心は何百万人の人を救うことができるヘルスケアの世界にあります。今回のパンデミックは世界があまりに早足で進んでいたことを振り返るということを教えているのかもしれません。「今」（Present)を楽しむことは文字通り（神様からの）プレゼントなんですから。	***Living Through the Pandemic: The good and bad.*** 5. My ways of tackling challenges
Arla Ailani Muchtar Gap Year		6	私は8歳の時から社会の正義を正す弁護士になるのが夢で、将来はハーバードロースクールに行くんだと決めていました。人と議論をするのが好きで、高校でも模擬国連に参加したり、ディベートのクラブの代表を務めていました。でもあの時、TYCAに参加したことで私の将来のキャリアビジョンは大きな変化を迎えました。自分の本当にやりたいことは芸術の世界で人を変えることであり、法曹界で生きていくことではないことに気づいたんです。作家、ジャーナリスト、もしくは女優になるのかは分かりませんが、常に学び続け、自分を高めていきたいと思っています。	***Career Finding: Passion or Pragmatic?*** 6. My future dreams & my actions

Malaysia

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Liow Jun Lin University student (Foundational program)		4	コロナウィルスで2020年の自分の活動計画は全て中止となってしまいましたが、家にいる環境で自分を見つめ直す機会となりました。（オリジナルビデオを制作、投稿）	***2020 made me a different person*** 5. My ways of tackling challenges
Lau Su Ching University student (Bachelor of Medicine and Bachelor of Surgery)		6	今年から医療の大学に進みました。未だ社会には医療サービスにアクセス出来ない貧困層の人たちがいる中、私はそうした人たちに医療を提供するサービスや財団を立ち上げたいと 思います。また、将来は「国境なき医師団」に参加したいと 思います。学校で医療を学ぶ傍ら、難民向け学校のチューターや、ホスピスでのボランティア活動を続けています。今 回のようなパンデミックでも医療が留まらない仕組みを提案 したい。私はSDGsの3つ目のゴールつまり、全ての人の健 康と福祉に貢献したいです。	***2020 – A New Turning Point*** 3. Contributing to SDGs 6. My future dreams & my actions
Hoon Fan Jing High School student		6	私の描くパンデミック後の社会は、世界の大学や研究機関が協力体制を構築し、専門知識を共有し、今回のような病気に対していち早く有効な対策を取れるような連携を組むような社会です。量子力学の技術を応用すればワクチン接種もより効果的になるでしょう。世界中の人が陰性の証明やワクチン　接種の記録を記録するグローバルIDを発行すればより国家間の移動の管理がしやすくなりますし、ポータブルなテスト機器を作れば直ぐに感染を診断できます。私は将来エンジニアとして先端技術の開発に携わりたいと思います。また、新型コロナウィルスについて教育ビデオを今回作ったので皆さん見てみてください。 https://youtu.be/JPIXDBACFKE	***I believe technology plays a huge role in solving many world issues*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions

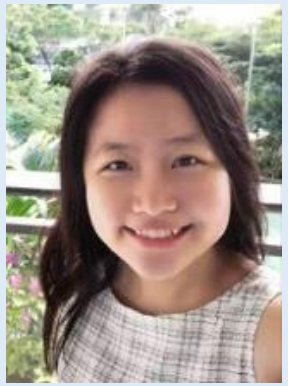
Philippines-1

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Sydney Picar Mateo University student		1	15歳の時にTYCAに参加し、シャイな自分がプレゼンテーションを出来たことを誇らしく思い出します。発表テーマである「アジアの統一」は、当時としては野心的すぎるものだったかもしれません。しかし、私にとっては、次の世代に向けてこのような目標を提唱する価値のある機会となりました。今回のWeb企画で過去のTYCAアラムナイがつながる機会を作ってくださった主催者に感謝しています。今後の進路については未だ具体的に決めていませんが、新型コロナで内省する機会が出来たため、自分の好きなフィクションの執筆など執筆の仕事に可能性を感じ始めています。	***Strengthening Ties and Overcoming the Darkest of Times*** 4. Applying TYCA learnings
Mark Ulysis I. Romulo University student (Department of History and Philosophy)		1	新型コロナの影響で経済活動は縮小し、外出制限などにより企業活動や人々の交流は閉ざされ、繁華街は静けさに包まれています。TYCAに参加して以来、最も大切なテーマの一つは人間と自然、そして社会との関係性における持続可能性の実現と、技術の進歩が多くの人間の生活の質を向上させることが出来るということです。新型コロナにより現実社会では多くの人々が困難な状況に追い込まれており、一人一人が出来ることは限られるかもしれませんが、皆で協力して何ができるかに注力すべきと思います。特に自分の地域の隣人と手を携え、健康な生活を取り戻すために努力している団体を応援したりするなど地道な努力と行動によって、社会を変えられることを実証したいと思います。	***Looking Back at Our Future*** 3. Contributing to SDGs 4. Applying TYCA learnings
Nelson Matthew P.Tan University student (Applied Mathematics with a Specialisation in Economics)		3	シンガポールのUnited World Collegeを卒業し、Harvard大学に進みました。コロナ禍の中ですべてがオンラインになることで、ASEAN各国だけでなく、北米、オーストラリア、英国など様々な国の人とつながりが実現し、複数の地球温暖化やガバメントパネルに参加するなど多くの貴重な機会を得ました。私は生涯を通じて学び続けたいと思います。開発経済学者か研究者になり、母国フィリピンと東南アジア地域の発展に貢献したいと思います。	***Overcoming and Finding Opportunities from Covid-19 Realities Now and Beyond*** 2. Unique actions/Encouraging moves 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions

Philippines-2

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Christine Abigail C. Tolentino University student (AB/MA Political Science Major in Global Politics Minor in French Studies)		3	大学で政治科学を専攻しており、将来は外交分野かガバナンスの道に進みたいと考えています。フィリピンはコロナに加え、台風も毎年やってきます。人々が団結し、慈しみを持つことで災害を乗り越えていかなければなりません。今回のパンデミックは世界の制度面の脆弱さも 顕在化しました。これからの道筋は遠いですが、我々若者がSDGsの17のゴールを通じて世界を良くしていかなければなりません。一人一人の声を発していくこと大切なのです。	***A Change for the Better*** 3. Contributing to SDGs 6. My future dreams & my actions
Bertrand Michael L. Diola University student (BS Agricultural and Biosystems Engineering)		5	私は将来、スマートテクノロジーやソリューションを通じて、農業にイノベーションをもたらし、祖国に貢献したい。大学で農業・生物システムを専攻しています。 TYCAに参加してから、自分のコミュニティの発展に役 立ちたいとの思いに目覚め、友達と恵まれない小学生の 子供たちに数学や科学を教えるボランティア組織を立ち上げました。すべての人がいろいろな役割を果たすのです。	***Lessons after TYCA for a Better World*** 4. Applying TYCA learnings 6. My future dreams & my actions
Vivienne Angelica H. Viernes University student (Bachelor of Science in Chemical Engineering)		5	大学で化学エンジニアリングを専攻しています。将来は 研究所や産業工場でナノテクノロジー、燃料、エネル ギー、電子化学に携わりたいと思います。コロナ禍で私 は新入生の導入サポートチームのリーダーと務めたり、 専門家や企業との接点を作る大学組織のメンバーにもな りました。パンデミックの教訓は、数字や統計に基づい た説明責任(accountability)と人間通しの思いやり (empathy)は両立する概念であることを示した点にあります。	***Tabula Rasa: Starting Again After Covid-19*** 2. Unique actions/Encouraging moves 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions

Singapore - 1

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Koh Xiang Ting Occupational Therapist		1	私は総合病院のセラピストとして働いています。 新型コロナによって社会の弱者層の問題が顕在化しました。シンガポールで働く移民の人たちのように技術にアクセス出来なかったり、自分たちを守れない人たちが抱えている問題です。コロナ禍が起きなければ私はこの社会課題に気付かなかったでしょう。いま、私はこのような方たちへの寄付やカウンセリングサービスを始めたところです。 パンデミックは、シンガポールは更に強い国に生まれるきっかけを提供し、私の目を世界に大きくひろげさせてくれました。	***Life after Covid-19: creating and enjoying new norms*** 1. Post-Covid-19 World and my role 2. Unique actions/Encouraging moves 5. My ways of tackling challenges
Lei Zemin University student (Major in Applied Mathematics)		2	私の描く未来の社会は、「再生可能エネルギー」で脱炭素化が実現し、ガソリン車が、水素、電気自動車に取って代わられ、全てのビルがグリーンとなり、人口食肉が普及し、ファッション業界もゼロエミッション化が実現する社会です。 私は今学んでいる統計分析を含む応用数学を究め、持続可能な社会に投資を行うサステナブルファイナンスの世界で投資家、もしくはコンサルタントとして社会を変えていきたいと考えています。	***A Greener Future for All*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions

Singapore - 2

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Loh Jonina University student (Global Studies Major, Minor in Japanese Studies and Geographical Information Systems)		4	現在、シンガポール国立大学でグローバル研究を専攻し、地理、生物多様性、社会学など幅広く学んでいます。いま学んでいるGISは空の上から地域の緑化や人口推測などが出来るので、人間と動物の両方に貢献できます。シンガポールの都市再開発局のインターンシップも経験しました。友人たちとリサイクルを事業化するThrist Shopも立ち上げ、地元地域からはじめ、オンラインで全国に広げ、収益はベトナムの太陽光設備の資金に寄付しました。TYCAは、我々若者も社会を変える力になれる存在だ、ということを自覚させてくれました。	***Challenges and Opportunities: A Reflection on Covid-19's Effects*** 2. Unique actions/Encouraging moves 6. My future dreams & my actions
Ong Wei Yi, Nikita High School student		6	将来は自分の強みを活かせるソーシャルワーカーとして活躍したいと思います。新型コロナウィルスをきっかけに社会の分断は顕在化しましたが、不平等解決に貢献することはTYCAで学んだSDGsの達成にも役立てるからです。パンデミックが産んだ、「深謀」、つまり我々の行動が回りに大きな影響を与えることへの深い認識、自国だけでなく他の国にも配慮する「慎み深さ」、そして当たり前と思ってきた周りの人々や友人への「感謝」の３つはこれからも私たちの心の柱となるでしょう。	***Lull After the Storm*** 3. Contributing to SDGs 6. My future dreams & my actions
Jeremy Lim High School student		6	新型コロナウィルスという禍は、我々高校生を含め、人と人の社会的なつながりを奪いましたが、今までに見られなかった新たな変化の機会も生み出しました。オンライン学習を余儀なくされたことで、新しい学びの方法やイノベーティブな考えを生み出しています。また、高校生はキャンパスからより広い社会に目を向け始めたのです。シンガポールで最もコロナ禍で影響を受けている多くの外国人労働者の問題が大きくクローズアップされると、多くの高校生が積極的に自分達の消毒液を分け与える寄付プロジェクトを立ち上げるなど、様々な動きが出てきています。	***Opportunities in the midst of a global health crisis*** 1. Post-Covid-19 World and my role 2. Unique actions/Encouraging moves 5. My ways of tackling challenges

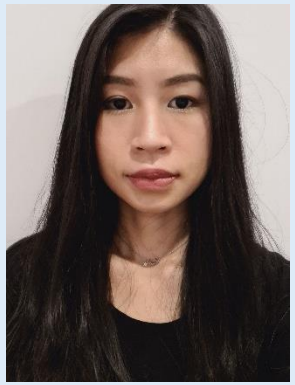
Thailand - 1

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Norapat Kinkaewboonwong University Student (Faculty of Science, Department of Biology)		2	今 、 静岡大学で生物学を学んでいます。卒業後は日本で働きたいと思っています。コロナ禍の中、オンラインがもたらす便利さはありますが、やはり実際のコミュニケーションに勝るものはありません。パンデミックでグローバル化が遅くなったという人がいますが、私は逆だと思います。オンライン化で日本とタイの国境はなくなり、いつでも誰とでもつながれます。世界の文化を社会に組み込むことの大切さを再認識しました。	***Pandemic: my new lifestyle and globalization*** 5. My ways of tackling challenges
Visavachit Pongsanun University student (Development Administration)		3	将来は社会起業家になって、より環境にやさしい持続可 能なビジネスを通じて、世界の人々の暮らしがさらに良 くなるようにしたい。私が思い描くのは、SDGs等の目標 の元に、将来の世界は人々が団結し、知識を共有し、自 分たちのことだけでなく、すべての持続可能な視点から 社会を良くしていくために一緒に行動していけるような 社会です。	***How Covid-19 changed our life and ideal post Covid-19 society in my mind.*** 1. Post-Covid-19 World and my role 3. Contributing to SDGs
Pavat Pichetsin Student		5	将来は産業界で開発経済等の研究をしたいと思います。 パンデミックが始まってからはTYCAで学びへの情熱を奮 い立たせ、経済への情熱を思い起こし、数学、経済学等 を学び多くの知識を身に付けました。ASEAN等、国際的 な枠組みを通じて世界の課題を解決していく大切さも再 認識しましたし、TYCAのような国際交流プログラムを更 にひろげれば世界の若者が自分の意見を発言し、一緒に 協力して世界の問題を解決することが出来るでしょう。	***Change*** 4. Applying TYCA learnings 6. My future dreams & my actions

Thailand - 2

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Chidtawan Maroseh Student		5	私は、将来外交官になってタイの人たちに公平に誠実に貢献したいと思っています。TYCAに参加し、様々な国の友達と出会い、私は人と交わることの楽しさを学びました。 タイでは、日本と同じように皆マスクをしていますので、コロナの感染は比較的低く抑えられています。 今回の感染の教訓で、ポストコロナの時代は、様々な場所で衛生環境の保全がスタンダードになるような社会を描いています。	***How do I expect the world to develop after Covid-19?*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions
Sukhuntara Yonto High School student		6	私は将来教員になりたいと思ってます。コロナ禍の中、健康の大切さ、感情面のケア、社会的なつながりを保つこと、精神的な安定を保つこと等が自分のモチベーションになっています。パンデミックだからこそお互いを励まし合い、癒しあって乗り越えていかなければならないと考えています。	***How Covid-19 changed my life and my ways of empowering myself to survive*** 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions

Myanmar - 1

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Hnin Thida Nwe Medical Intern		1	6年間、医学校で医学を勉強し来年卒業します。内科医を目指しています。コロナが始まってから、医用関係者ハイリスクとい うことで家族と離れ離れになりました。幸い回復しましたが、インターンを勤める病院で私もコロナに感染する結果となりました。ミャンマーのような開発途上国は医療リソースが不足しており、対応は困難を極め、医用従事者もフル回転の状況です。将来は、技術の発展による遠隔診断や、カルテや医療データの電子化等のデジタル診療の進歩で総合的な医用サービスが構築される社会を思い描いています。	***Adoption of digital consultation can be great help in primary care*** 5. My ways of tackling challenges
Lwin Paing Phyo University student (Medical Student)		1	私の大学は首都ヤンゴンから859キロ離れた田舎町にあります。あと2年間医療を学んだあと、医療の実世界に入る予定です。私は、将来医師になって、都市や地方両方で、貧困層の人たちに無料の医療サービスを提供できるようにするなど、医療で社会に貢献し、救える命を救えるようにしたいと考えています。 現在は、新型コロナで休校となってしまっているので両親の家業を手伝いながら勉強しています。読書をすることで強い精神を養うことにも取り組んでいます。	***Reading books makes our minds stronger and better*** 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions
Hnin Ei Shwe Yee University student (Bachelor of Business Information Systems)		3	自律した人間となるために母国ミャンマーを離れ、オーストラ リアに留学しましたが、コロナ禍でほとんどの活動が休止とな りました。コロナの正の影響を挙げるとすれば、21世紀の多忙な社会で自分の時間を作ってくれたことでしょう。学生たちが お互いを助け合う姿は、コロナが終息しても見ていたいです。持続可能な社会、そして交渉を通じて結果を導くという学校では学べないTYCAのカリキュラムはコロナ後の社会を作るために役立てることが出来ると思います。人間はどんな困難も乗り越えてきたのですから。	***The Year 2020*** 5. My ways of tackling challenges

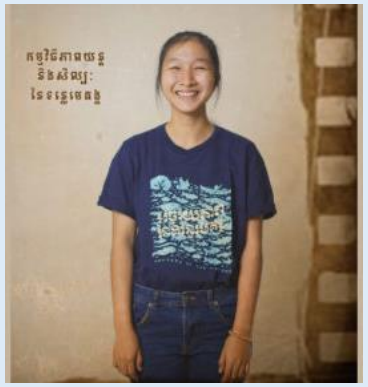
Myanmar - 2

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Htet Aung Ko University student (Philosophy)		3	ミャンマーは、パンデミックと同時にインフォデミック、つまり噂や誤情報で混乱しました。 ミャンマーのNGOが立ち上げたWaste To Food Exchange Programは、食料に困っている貧困層の人々などにゴミを収集して集める代わりに食事を提供するという取り組みが成功を収めました。現代の個人主義や腐敗が続けば、次世代の人々は苦しむでしょう。 私は次世代としての自分の責任を果たすために、自分の権利を主張するより、人々の福祉を優先して考えたいと思います。	***As a young initiate form Myanmar*** 6. My future dreams & my actions
Swam Min Htike University student (Computer Engineering)		4	詐欺師症候群(Imposter　Syndrome)、自分の力を信じることができなくなる精神症状。僕は、今回の新型コロナで詐欺師症候群になってしまいました。私は、去年から米国のミシガン大学のコンピューターエンジニアリングを学んでいます。コロナで学校は全てオンラインになり、私はやる気を失い、 精神状態は最悪になりました。幸い、友人に相談し、自分だけでないことも分かり、いま、回復途上にあります。もし自分ひとりの力で立ち直れないときは自分に優しくし、是非誰かのサポートを得てください。自分を追い詰めてはいけませんよ。	***Imposter Syndrome*** 5. My ways of tackling challenges
Hsu Wut Yee University student (Medical Student)		5	TYCAでの我々のチームが提案したオンライン学校（Ed-Tech）がこんなにも早く現実になるとは思いませんでした。学校に行けなくなり、時間が出来たため、オンラインで英語の勉強をしたり、ミャンマーの若者団体に参画したりしました。 今までIT端末は使わない方でしたが、今回のパンデミックをきっかけにソーシャルメディアで、SDGsをテーマにミャンマーの様々な人と知り合い、情報交換したり、健康についての認識を深めたりしました。	***We should put our hearts together*** 5. My ways of tackling challenges

Cambodia - 1

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Eang Sokunthea University student (Computer Science)		1	私はソフトウェア開発者としてIT企業に勤めたいと考えており、母国を離れシンガポールに留学中です。私のもう1つの夢は、孤児院を設立し、恵まれない子供達に学びの機会と将来の希望を与えることです。コンピュータサイエンスを通じて、SDGsのゴール９、つまり、レジリエントな産業、社会、インフラを築くことが出来ると考えています。いま、機械学習を学んでいて、人々の生活水準の向上を図る技術を開発したいと思っています。技術は両刃の剣でもあるので、技術を正しく社会に役立てることに注力していきたいです。	***A more empathetic world*** 3. Contributing to SDGs 6. My future dreams & my actions
Chheu Seav Houy University student (Nursing)		1	私は今シンガポール大学で看護の勉強をしています。将来カンボジアに戻り、看護施設や病院で働きたいと思っています。私は、助けを必要としている人が最初に私を思い起こしてくれるような人間になりたいです。継続した学び、自分への愛、社会への恩返し、希望を持ち続けること、この４つを毎日心がけています。ASEAN奨学金をもらってシンガポールで勉強できたおかげで、視野を大きく広げることができました。学生団体では、ボランティアで大学生や高校生の教師を務めています。若い人たちが社会を変えることが出来ると教えてくれたTYCAに感謝したいです。	***Becoming a Better Me*** 6. My future dreams & my actions
Chhun Sen Neang University student (BA in Accounting and Finance)		3	大学は到着点ではなく、自分発見の旅の始まりと考えています。 大学では会計とファイナンスを専攻していますが、今はもっといろいろな道 も 開けると思っています。パンデミックにより私は大学のキャンパス外の活動にも精力的に参加するようになりました。ディベート大会では副会長を含め、企業主催のビジネス提案コンテストでは教室で学んだ理論を応用することができました。パンデミックは周りの世界を大きく変えましたが、この状況を乗り越えようという意思を通じて新しい動きも出てきています。明るい希望を持って皆さんで乗り越えていきましょう。	***In the Bleak Mid-Pandemic*** 5. My ways of tackling challenges

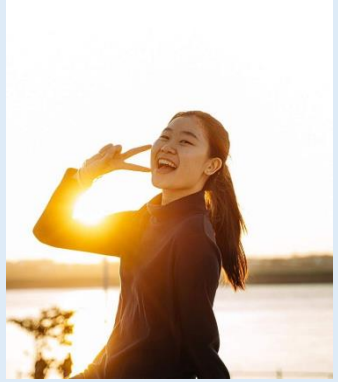
Cambodia - 2

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Pichchanrathna Vorn University student （Accounting major）		5	私は会計を学んでいます。社会に出てから経験を積んでCPAの資格も取り、社会に貢献したいと考えています。次世代の若者として、今のコロナ禍を乗り越えるだけでなく、地球温暖化の解決にも取り組む社会を作りたいと思っています。なぜなら、地球温暖化は公共衛生の問題だけでなく、経済的に大きな損失を社会に与えるからです。世界の各国で再生可能エネルギーへの関心が高まっており、母国カンボジアも然りです。パンデミックの教訓は社会の方向を正しく修正する動きも出ており、私も微力ながら環境にやさしい社会作りに貢献したいと考えています。	***Thinking about Climate Change under this Covid-19 era*** 1. Post-Covid-19 World and my role 3. Contributing to SDGs
Bun Sreypich Student （American School）		5	将来はビジネスを通じて社会の発展に貢献したいです。ビジネスは、利益優先ではなく、持続可能な社会作りに役立つ必要があると考えています。開発途上国であるカンボジアでは多くの人が未だインターネットに接続できません。私は友人と携帯端末のアプリで科学や外国語等の学習ソフトを提供するサービスを立ち上げて、教育の質向上に役立ちたいと考えています。	***Beyond the Dark Cloud*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions

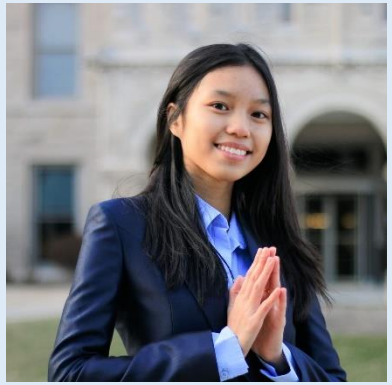
Vietnam

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Truong Quynh Mai University student (Foreign Trade)		5	子供が好きなのでずっと教師になりたいと昔から考えていましたが、TYCAに参加して世の中に影響を与える人間になりたいと思いました。ベトナムを少しずつ発展させたいと考え、外国語貿易大学に進学しました。新型コロナのおかげで、大切な家族の絆を含めて今まで当然と考えていたことがあたりまえでないことに気付きました。コロナの解決は未だこれからですが、我々が協力すればきっと乗り越えられると思うっています。	***My Life, Your Life, our lives in Covid-19*** 6. My future dreams & my actions
Tran My Linh University student (Social Innovation and Entrepreneurship)		5	TYCAに参加してグローバルな社会課題と国際協調の重要さを痛感し、岡山大学のグローバルラーナーズ ディスカバリープログラムに参加しました。社会イノベーションと起業のコースを履修しており、卒業後は 社会起業家としてベトナムの国際的事業に携わりたいと考えています。パンデミック後の社会は今より良くなると思います。そして、パンデミックは、国内、国際的に一致団結する大切さ教えてくれた気がします。次世代のリーダーとして将来国と国をつなげる仕事につきたいと思います。	***Changes in my life and our lives after Covid-19*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions

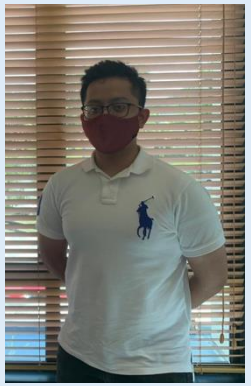
Laos - 1

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Vilakoun Boudphachanh Recently graduated from University		1	私は、ラオス国家大学を卒業し、NGOに勤め数年間の経験を積んだ後、海外の大学でMBAを取りたいと考えています。将来は有機栽培の農園を経営したり、英語の教師をしたりと自分の幅を広げてみたいです。私は今まで英語の能力を伸ばすために、アメリカ大使館、日本大使館、その他でのインターンシップに参加して英語の能力を磨いてきましたが、大学卒業を契機に、地域に戻って発展に貢献することを決心しました。地域の子供達が国際語としての英語を習得することを助け、将来なりたい職業に就いたり、大学進学の助けとなれるよう、2021年の春の英語学校の立ち上げを準備しています。	***What are you engaged in these days to become what you dream to be?*** 6. My future dreams & my actions
Anoulack Chanthakhat Project Coordinator		1	パンデミックが起こったとき、私はアメリカでの交換留学生としての最後の時期でした。ライフスタイルが大きく変わり、モチベーションも下がりましたが、部屋の中にポジティブなメッセージを貼ったりして自分を奮い立たせました。私は新型コロナウィルスをきっかけに「マインドフルネス」つまり、今この瞬間に意識を集中し、将来の不安を憂いたり誰かを責めたりはしないこと、の大切さに気づきました。私は現在、祖国ラオスに戻り、教育と職業カウンセリングのプロジェクトに携わっています。今回のパンデミックは、自分自身を振り返る絶好の機会です。自分の生き方、他人との接し方、つながり方、そして自分自身についても振り返ってみましょう。	***What I have learned from Covid-19*** 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions
Antyka Xayaphone University student (Faculty of Law and Political Science, International Relations Department)		3	国際関係の学生の多くの目的は外交官になることだと思いますが、私は、自分のビジネスを持ちたいと考えています。具体的には、母が立ち上げた麺業を、環境にも配慮した国際レベルの事業にすることです。母は美味しい麺をつくりのが上手で、コロナ感染が発生後、なかなか食糧調達に外出ができなくなったことから、自分で麺を作って他の人にも提供してはどうかと思い立ち、起業したのです。人生は負の側面と共に、必ず正の側面があると感じています。	***Despite the effect of COVID-19 pandemic, Opportunity comes across to dare you.*** 2. Unique actions/Encouraging moves 6. My future dreams & my actions

Laos - 2

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Kitsanay Phommavongsa Student （International School）		5	我々の損失を嘆く前に、皆で将来このようなパンデミックを防ぐにはどうやって協力したら良いかを一緒に考えてみたいです。 私は来年高校を卒業し、日本やドイツなどの外国の工業大学で勉強したいと考えています。持続可能なエネルギーシステムをつくり、地球温暖化対策に貢献したいです。 今回のパンデミックは、国際連携や迅速な情報共有の大切さを浮き彫りにしました。我々次世代はもっと国際的な協力をしなくてはなりません。私は多くの国際プログラムに進んで参加するようにしています。	***Lessons from the Pandemic*** 5. My ways of tackling challenges
Namthip Vannalath Attending university in Australia at the start of 2021		5	パンデミックは、人々のライフスタイル、雇用、そしてグローバルなサプライチェーンに大きな影響を及ぼしました。 私は、将来起業家になって、今まで社会が軽視してきた環境、人権、ジェンダーの平等、企業の社会的責任等をきちんと踏まえたビジネスを始めたいと思います。 今回、恵まれない人々へのオンライン教育を促進するプログラムに参加し、想像以上に多くの人が教育を享受できていないことが分かりました。今回得た気づきや学びを将来の経営に役立てたいと考えています。	***Covid-19 has shown light on one of the most obvious problem in society*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions

Brunei

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Gabrielle Chin Siew Li Lead Gymnastics coach and Customer communication service for programs		2	TYCAで学んだのは、ASEANや日本はそれぞれが持続可能な強みを持っており、言葉の壁を越えて、若者が協力することでASEANに変革を起こせるということでした。また、新型コロナは自分を見つめ直す機会を与え、人々のつながりの大切さを教えてくれました。 私はスポーツコーチとして、子供たちにスポーツを通じてコミュニケーション、リーダーシップ、失敗からの学習、そして協力の大切さを教えていきたいです。そして、コロナ終息後は、純真な子供たちの思い出に残るようなバースデイイベントを企画する仕事に携りたいと考えています。	***Building a collaborative community*** 4. Applying TYCA learnings 5. My ways of tackling challenges
Mohammad Mu'az Bin Haji Roslan Graduated from high school and waiting for university applications now		6	コロナ禍により、地球温暖化とエネルギー問題、そして質の 高い教育を普及させる課題が浮き彫りになりました。工場が操業を止めることで二酸化炭素の排出量も大幅に減り、マレーシアではオンライン教育にアクセス出来ない人々への寄付が進められました。パンデミックを契機として、全ての人々が参画して社会を変えていく重要性が認識されたと考えています。	***Lessens During Life in a Pandemic*** 5. My ways of tackling challenges
Kieran Jed Lai Jie Foong Graduated from high school and waiting for university applications now		6	大学ではバイオテクノロジーを専攻したいと考えています。研究機関のラボで将来働き、技術の力で全ての人たちに薬が安価で手に入るようにしたいと思います。 今回のパンデミックにより、今までお互い知らなかった人々が協力して共通した目的解決に一致団結する動きが始まりました。政府だけでなく、市民が連携してコロナで大きな影響を受けた貧困層へのボランティア活動を組織するなどです。私は希望を見ました。TYCAで学んだこと、それはどんなに問題が大きくても、たくさんの国と国が協力すれば解決できるということです。	***My World in Covid-19*** 4. Applying TYCA learnings 5. My ways of tackling challenges

Japan - 1

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Kento Sakai University student (Department of Applied Mechanics and Aerospace Engineering)		2	現在、大学の修士課程で、ロケットの航空力学を学んでいます。ロケット打ち上げの信頼性と安全性を高めることがテーマです。新型コロナの影響で修士課程の最初は大学に通えませんでしたが、その時間を使って別の関連分野の勉強をしたおかげで、機械系の振動についての知識を習得し、ロケットエンジンの打ち上げ時の信頼性を高めることを将来の職業にしたいとの思いに至りました。技術課題は大きいですが、期待できる効果は大きいので成功するまでやりぬきたいと思います。「足で考える」をモットーに頑張りたいと思います。	***Thinking on Feet*** 6. My future dreams & my actions
Naru Hanahara University student (Environmental law)		3	私は大学で法律を学んでいます。コロナで北欧留学が急遽中止になったことでじっくり将来を考える機会が出来、ビジョンが見えてきました。中学生の頃、環境保護先進国であるドイツに３年住み環境に興味を持っていたこと、TYCAで本格的に環境について学び、ドイツでも環境ワークショップに参加したことを踏まえて、大学では環境法について専攻することにしました。将来は海外経験も経て、日本政府で環境保護に携わっていきたいです。 コロナ渦でオンラインの利点を活かしたAI翻訳のアルバイトを見つけることもできました。COVID-19は人類の大きな障害ですが、私にとっては新たな可能性も生み出してくれました。	***How the year 2020 and COVID-19 made difference on me and what are the benefits COVID-19 provided.*** 4. Applying TYCA learnings 5. My ways of tackling challenges
Tatsuya Otsuki University student (Culture, Media and Society : Media Studies)		3	新型コロナにより人間生活にとってのコミュニケーションの重要性に気付きました。また、自分としてもスケジュール管理を含めてライフスタイルを変える必要性に迫られました。学期末の課題でチームワークが必要な課題に直面したとき、長らく連絡をとっていなかった友人が協力してくれたおかげで、課題を克服することが出来て友人の大切さを再認識しました。今はパンデミックで国際交流が閉ざされる中、各国の雰囲気を伝える仮想空間でアバターを使った新たなソーシャルネットワークサービスを実現したいと考えています。	***Idea from the failure under COVID-19*** 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions

Japan - 2

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Kota Watanabe University student (Political Science and Economics)		4	私は、TYCA等、国際交流プログラムへの参加や、海外の滞在経験を通じて、母国日本に外交を通じて貢献したいと考えています。2020年はパンデミックで数多くの環境の制限はありましたが、私にとって成果の多い年となりました。自分を見つめ直し、将来のキャリアに思いを巡らせ、具体的な行動を起こしました。今、早稲田大学の政治学部で国際政治などを学んでいますが、新鮮な発見の連続です。ゲーム理論や戦争の交渉モデル等は今後の国際交渉、国際協力の理論的かつ実践的なモデルを提供してくれます。国家公務員には必須である行政法や憲法なども大学以外で学んでいます。TYCAでASEANの優秀な同期と国際協力やSDGsを学んだ経験は、今の私の基礎を作り上げる貴重な体験だったと思います。	***TYCA and My Future Vision*** 4. Applying TYCA learnings 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions
Yushi Fukuda High School student		5	新型コロナの影響によって多くの日常生活活動がオンラインになり、自分の空手の稽古もオンラインになりました。コロナの終息は数年に渡るとも言われていますが、コロナ後の社会はオンラインと直接コミュニケーションの二つの用途を使い分けた社会になることを期待しています。オンラインではどうしても熱意は伝えにくいです。TYCAの発表で自分のチームはオンラインの仮想空間によるVirtual Classroomを提案しましたが、今回のパンデミックでオンライン環境の有無を含む貧富の格差が明らかになり、技術の提供だけでなく全ての人々に公平な教育環境を提供する政策の大切さを認識しました。家族の絆から国際協力に至るまで人と人のつながりが社会の発展を支えていることを踏まえて、世界の指導者たちには新たな世界への道筋を示すことを期待すると共に、私も次世代のリーダーとして貢献していきたいと思います。	***What to reinvent and what to maintain in the post Covid-19 world.*** 1. Post-Covid-19 World and my role 4. Applying TYCA learnings
Soya Hagiwara University student (Advanced Science and Engineering, Department of Physics)		5	パンデミックは間違いなく世界を変えるでしょうが、世界がどのように変化するかについてはさまざまな憶測があります。人口論で有名なマルサスが、産業革命以降の経済成長の速度を予測できなかったように、画期的なシフトが進行中の場合、過去から未来を予測することは誤りです。私が考えた解決策は、まず現在の状態で適用されるモデルを作成し、次に理論データから実語データの偏差を計算し、最後に偏差の原因となる要因を特定してモデルを調整することです。考えただけでは意味がなく、積極的に実践してその可能性を追求しなければなりません。	***My Yet-To-Be Formalized Idea for Better Prediction*** 2. Unique actions/Encouraging moves

Japan - 3

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Ren Nakano University student (Political Science and Economics)		6	新型コロナでフェイスマスクを着用することがライフスタイルの一部となり、友人と過ごす時間は減りましたが、家族との絆は強まりました。高齢者世代のオンライン環境の適応など社会の変化も加速し、人々は仕事と日常生活の両面で隔離された環境を楽しむ独自の方法を発見しつつあると思います。ポストコロナの社会は予測は不可能ですが、オンラインの導入で仕事の効率は上がるでしょうし、遠くの人々との距離が近づく社会となるでしょう。一方で様々な人が一緒に働く社会を実現するには、次世代のリーダーである我々若者がTYCAのような集いを通じて多様性をさらに学ぶ必要があると思います。	***A Society After COVID-19*** 1. Post-Covid-19 World and my role
Shinichiro Umehara High School student		6	未来がどのような社会になるのかは分かりませんが、確実に言えるのは変化に対して準備をすべきだということです。ユヴァル・ノア・ハラリ氏の著作「21世紀の21の教訓」は大変示唆に富む本でした。これからの社会で変化に適応していくためには、新たな知識の習得よりも、精神的な柔軟性と感情のバランスが大切だと説いており、非常に興味深い考えだと感じました。予測不可能な社会で大切なのは、何より行動する力だと思います。今後数十年の将来に備え、新たな視点を得るための知識の習得と、直面するすべてのことへの挑戦に取り組んでいます。	***My Future Career and its Vision in this Advanced Society.*** 5. My ways of tackling challenges
Hiroto Fukuoka University student (Fundamental Science and Engineering / Computer Science and Engineering)		4	新型コロナウィルスにより、私たちは家にいることを余儀なくされ、友達や家族と一緒に旅行に出かけたりすることも難しくなりました。多くのレストランや企業は顧客が減少し、多くの従業員が一時解雇に直面し、すべての国が経済的打撃に苦しんでいます。一方、多くの企業がテレワークを採り入れ、政府もインターネットの活用を推進し、社会保障や個人情報などはこれまで以上にデジタル化されつつあります。これからの「持続可能性」を考えるとき、働き方の変化とIT技術の進化の影響を考慮しなくてはなりません。つまり、これまでのように資源、経済、環境の問題に焦点を当てるだけでなく、情報とデータをどう有効に活用し、隣国と協力できるかを考えなければいけないと思います。私はこれからの社会の変化に対応し、エンジニアとして貢献していきたいと考えています。	***Data and Information and Sustainability*** 1. Post-Covid-19 World and my role

Japan - 4

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Satsuki Kobayashi Advisory service		1	コンサルティング会社に勤めていますが、オンラインで仕事をする難しさは、直接面識の無いクライアントと信頼関係を醸成すること、上司等の仕事ぶりから直接仕事を学ぶ機会が無くなること、そして、回りに気軽に協力を求めることへの心理的障壁だと感じました。一方で、仕事の進め方や、新たな人との出会いづくりを自分でより考えるようになるプラスの変化も生じました。世界の多くの若者の仕事が奪われている現実の中で、私も多様性と包括性を尊重する社会の実現のための社内プロジェクトに参加しています。私が描くポストコロナの社会は、私たちが自分の願望に忠実で、人生をやり直すことができる社会です。	***The restricted environment to cultivate the abilities*** 5. My ways of tackling challenges
Kokoro Osada University student (Economics and Political Science)		1	私は尊敬する日本の貿易投資会社に入社しました。新型コロナにより家族と共に過ごす時間が生まれ、日本国内の地域の素晴らしさに目を向ける機会ともなり、人生の優先順位を再評価する機会に恵まれました。社会的には新型コロナによる外出制限施策は国家と主権・プライバシーの関係に新しく光を当てる結果となりまました。また、困難な状況下で国際協力が求められる中で、各国は食糧や医薬品を自国に囲い込み、経済不平等は増しています。今こそ国際社会が一致団結し、最新の技術を共有し、将来のウィルスの発生を防がなければならないと考えています。	***2020 A Year of Change*** 1.Post-Covid-19 World and my role 5. My ways of tackling challenges
Haruka Takemoto University student (Department of Political Science, Faculty of Law)		2	新型コロナウィルスで変わったのは３つです。ライフスタイル、ワークスタイル、そして新しい価値観の提示です。ライフスタイルでは、最近弾いていなかったピアノを久しぶりに弾くなど、自分の時間ができたこと。２つ目のワークスタイルは大学のゼミのリーダーとしてオンラインのゼミのやり方を工夫創出できたこと、　３つ目は新たな価値観の習得です。日の目を見ないクライアントの商品に新たな価値を見出すビジネスマンから洞察を得ることができました。	***Be a strong person*** 5. My ways of tackling challenges

Japan - 5

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Miyu Saiki University student (Faculty of Law)		3	大学の授業がオンラインになることで、マイナスの側面とプラスの側面がありました。プラスの面では、自分の趣味や関心のある分野、つまり、心理学や映像・芸術の分野に時間を割くことができるようになりました。私は社会の不平等をなくしたい、そして人を幸せにする職業につきたいという思いから法律を学んでいます。私はアートも好きで、アートは社会を変える力を持っていると信じているので、アートの力を使って難しいコンセプトも分かりやすく伝えたいと考えています。	***Creating New Happiness in New Era*** 5. My ways of tackling challenges
Yoshie Kaneko University student (Faculty of law, Department of political science)		3	私の夢は幸せに感じる人々を増やすことです。社会に貢献することで幸せな人々を増やしたいと思います。そのためには自分自身を成長させ、成熟させる必要があります。そのために、私は大学の体育会のボート部に所属し、日々練習を通じて精神と肉体の両面で鍛錬に励んでいます。自分の性格をネガティブからポジティブに変え、私の可能性を試したかったからです。ボートは体力とスキルの両面と精神面での粘り艶さが必要ですが、チームワークも含めて非常に深遠なスポーツであり、多くを学び、自分自身の成長を実感しています。	***My Rowing Life*** 6. My future dreams & my actions
Seira Mizusawa University student (Faculty of Law, Department of Politics)		4	大学に進学後、しばらくは前向きに状況を捉えることが出来ませんでしたが、秋学期が始まって以来、徐々に変化が現れました。私は簡単に友達を作ることができるタイプの人ではありませんでしたが、勇気を出して周りの人と話をし、友達を作ることができたことで、座して待つだけでは変化は起こせないことがわかりました。友達とZoomで気軽にチャットしたり、さらには社会問題を語るZoomカンファレンスに参加し、同じような興味を持っている人とつながるようになり、時間を賢く管理して使うスキルも向上しました。COVID-19は、私たちの創造性を活用し、私たちが何ができるかを考え、時間を最大限に活用する良い機会であったと思っています。	***A pandemic is not the end of the world ~strengthening social skills while meeting less~ (Essay)*** 5. My ways of tackling challenges

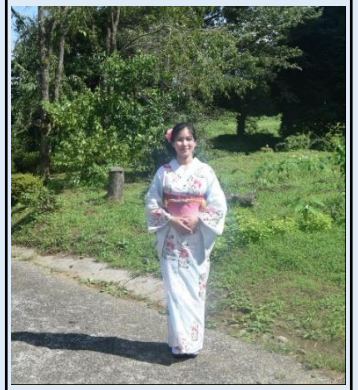
Japan - 6

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Yukiko Nukina University student （Major in Economics, Minor in Political Science）		4	文化交流は、オンラインでは完全に再現できない体験の1つです。人に深い印象を与える本当の人間関係は、仮想体験に置き換え難いものです。国際協力にとって、相互理解と尊重はまさに基盤であり、それは主に人間の相互作用によって促進することができます。文化交流は、この点で非常に効果的な方法です。人を理解することは、文化や国を理解することにつながります。パンデミック後の世界が、物語のさまざまな側面、さまざまな背景からの相互作用、コミュニケーション、意見交換が積極的に推進される社会になることを願っています。私も、TYCAのような文化交流で得た経験を積極的に広め、その意義を提唱することで貢献していきたいと思います。	***Re-evaluating Grassroots International Exchange*** 1. Post-Covid-19 World and my role 4. Applying TYCA learnings
Minori Kon University student （Medicine）		5	＜英詩制作＞ いつ我々の世界は通常に戻れるのか。誰も想像もしなかったこの事態。でも嘆いても変わらない。我々が出来ることはたくさんある。あなたは悲観論者？それとも楽観論者？どんなに離れていても、いつも心ではつながっている。人間は今までももっとひどい状況を経験してきたはず。 我々が乗り越える力は我々の内に備わっている。 皆でコロナに打ち勝とう。	***WE CAN BEAT THE VIRUS*** 1. Post-Covid-19 World and my role
Ayano Miyamori University student (Faculty of Economics)		5	将来は商社に勤めて海外の仕事に携わりたいと考えており、英語だけでなく、中国語、フランス語を学んでいます。新型コロナウィルスで仕事とライフスタイルは大きく変わりましたが、良い面で言えば、より自分の時間が出来たことでフランス語の勉強の時間が取れました。今は、将来フランスに留学したいと思っています。コロナ渦でオンラインでの対話が増えましたが、私はface to faceと、オンラインの両方の良いところを掛け合わせたコミュニケーションがベストだと考えています。	***The Changes of My Life-style Due to Covid-19.*** 5. My ways of tackling challenges 6. My future dreams & my actions

Japan - 7

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Yuri Suzuki University student (Faculty of Law)		6	大学に進学早々、コロナと直面することになりました。オンラインクラスなどにはなじめず、友達づくりにも苦労し、Face to Faceのコミュニケーションの大切さを実感することになりました。コロナのプラスの影響としては、家族と過ごす時間が増えたことでしょう。家族は私を心配して支えてくれ、私自身も家族への思いやりが育ちました。日本人は海外と比較して働きすぎと従来言われてきましたが、コロナは日本人にとって家族と過ごす時間の大切さを見直す良い機会となったに違いありません。ワークライフバランスの大切さは将来日本でも大切なテーマとなってくるでしょう。 最後に姿の見えないウィルスと日々戦ってくださっている皆さんに感謝したいです。	***New Normal of Family*** 5. My ways of tackling challenges
Yui Miyauchi High School student		6	パンデミックは、個人間、そして、国家間の不平等を露呈しました。世界中が同じロックダウンという状況に置かれた時、住んでいる地域、所有する財産によって、受けられるサービスは異なりました。新型コロナウィルスを学生として経験した私たちは、全ての人が多様性を尊重し、共に困難に立ち向かえる、差別なき世界をつくる使命があります。そのために、次世代を担う私たちは、国際協調のあり方を変えていく必要があると思います。	***For an Inclusive World*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions

Japan - 8

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Kotone Watanabe University student (department of economics and international relations)		2	パンデミックで世の中の価値観やライフスタイル、そして仕事の仕方が変化しました。私は将来、大学を卒業したらライフスタイルの多様性に貢献できる仕事につきたいと考えています。今回のパンデミックで亡くなられた方には心から哀悼の意を表し、医療関係者の皆様には感謝したい。新型コロナで友人とは会えなくなったが、普段忙しくて合えなかった家族と一緒に過ごすことが出来、読書の時間も取ることが出来ました。前向きな気持でこの状況を乗り越えて生きたいと考えています。	***Positive thinking*** 6. My future dreams & my actions
Maki Imada Civil servant		2	＜英詩制作＞ 世界が今回の人類共通の脅威にさらされる前は、私は自分の人生を生きていなかった。情報、人の流れ、感情は昼夜を問わず光の速さで変化する中で、私はいつも他の人にどう評価されるかを気にし、休むことに罪悪感を感じていた。今回の環境の変化で、好きな自分、嫌いな自分、いろいろな自分に出会い、自分の人生を生き始めることが出来た。自分自身を愛し、癒すことは地域と世界をより良くするための第一歩なのだ。	***Watashi*** 5. My ways of tackling challenges
Satsuki Nagahara University student (Literature)		3	新型コロナウイルスをきっかけに、身の回りの整理整頓から取り組み、精神面を含めて新たな変化を感じました。綺麗な部屋では勉強により集中でき、自分の趣味や趣向にあらためて気付く契機になりました。整理整頓することで自分の人生に余裕を自信を持てるようになり、語学やメークアップなど様々なことに挑戦することができ、限られた自分の時間を有効に使えるようになりました。友人も私の変化を感じたそうです。自分自身に向き合い、自分自身について学び、世界で活動する準備期間と捉えることが出来れば、新型コロナの時間は価値ある期間と言えると思います。	***I felt a change in my consciousness*** 5. My ways of tackling challenges

Japan - 9

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Ota Ai University student (Major in environment and development studies)		4	私はいま大学で環境と開発について学んでいます。コロナで開発途上国に直接支援にいけなくなりましたが、日本の３R政策をもっと学ぶことで諸外国の環境問題に貢献したいと考えています。 新型コロナでオンライン教育が普及してるので、日本とASEANの学生を繋ぐオンラインスクールを立ち上げるのはどうかと思っています。日本の学生は英語スキルを磨き、アジアの学生は日本語や日本の文化・価値観を学ぶことができ、日本の少子高齢化と雇用問題にも貢献できると考えています。	***How Covid-19 Changed Our Lifestyle*** 6. My future dreams & my actions
Norika Mawatari University student (Social Innovation and Entrepreneurship course)		4	新型コロナウィルスは全人類への警鐘となりましたが、危機や災害はいつでも起こり得るということに気づかせてくれたのも事実です。オンライン教育の普及により、社会のより多くの人々が教育にアクセスできることが期待できます。またリモートワークにより家族の絆は強まりました。巨大な脅威に立ち向かい、克服することに成功できれば、お互いの垣根を乗り超えて一体感を生み出す、前向きな機会にできるかもしれません。私はSDGsの4つ目のゴールである質の高い教育に最も関心があり、富裕層と貧困層の差が拡大する中、貧困層の教育の質の向上に貢献したいと強く願っています。	***COVID-19 and Me*** 1. Post-Covid-19 World and my role 6. My future dreams & my actions
Daigo Watanabe High School student		5	私の夢はシェフになることで、地元海士町のシェフのもとで料理を学んできました。2021年の春からは料理学校に入る予定です。自分の評価基準を持ち、常に学びの姿勢を持ち続けたいと思います。自分の成長を自ら振り返ることで、成長することができるからです。隠岐島前高校の授業では地域の社会課題を考えるワークショップを行っていますが、農家や漁師、猟師など一次産業に従事する人々は素晴らしい仕事をされていながらも、担い手不足等、産業の空洞化の課題を抱えています。私は空洞化に歯止めをかけ、地元の魅力を伝えることに注力したいと思います。	***My dream*** 6. My future dreams & my actions

Japan - 10

Name / Affiliation	Photo	Vol	Summary in Japanese	Title / Theme
Noguchi Ugyen Chodey High School student		5	4月初旬に春休みが終わって学校が始まったとき、隠岐島前高校の寮に戻ってきた生徒は半分以下でした。 隠岐島前のクラスは全てオンラインになりましたが、生徒達の友情は深まりました。Children's Support from Oki Dozen Projectをスタートし、ペットボトルのキャップ5000個をを集め、UNESCOの ワクチン基金に寄付しました。パンデミックで人間の活動が制限され、動物が町に出現したりしていますが、日本の行動を反省すべきときかもしれません。私は世界遺産を守るため、UNESCOで働くことが将来の夢で、大学に進学したらグローバル・地域研究に進むつもりです。	***Reflecting after the Wave*** 2. Unique actions/Encouraging moves 6. My future dreams & my actions
Yuzuha Yoshizato High School student		6	新型コロナで春休みが延長されたこともあり、私はオンラインで人とつながること、そして、自分を見つめ直すことの二つに取り組みました。中国、香港、台湾の同世代の生徒とオンラインで交流する国際カンファレンスに参加し、私たちの周りに数多くの偏見が存在することを知り、世界の認識が変わりました。また、自らの将来を見つめ直す中で将来、子供達の笑顔を見れるような職業につきたいと考えています。コロナウィルスでface to faceの交流は出来なくなっていますが、国の垣根を越える新たなグローバル交流の可能性も発見しました。	***My Changes Caused by Covid-19*** 2. Unique actions/Encouraging moves 5. My ways of tackling challenges
Emily Yamamoto High School student		6	私は将来英語の教師になりたいと考えています。 様々な外国の文化を知り、そして、日本文化を再発見すると共にお互いの価値観の違いも認識し、子供たちにも異文化経験の大切さを教えていきたいです。 最近では、日本と海外の制度の違い、特に婚姻制度に対する法律の違いなどがあることを、隠岐島前高校で起こった学校の制服の男女区別をやめるという取り組みをきっかけに知りました。この取り組みはLGBTの生徒から提案されたもので、生徒皆がLGBTの課題を理解し、協力し合えたことは素晴らしいことだと思いました。	***My Fee*** 6. My future dreams & my actions